

鳥インフルエンザ関係府省庁連絡会議

日 時：令和4年12月16日（金）

議 題：広島県世羅町及び沖縄県金武町の家きんにおける
鳥インフルエンザの疑似患畜の発生について

(鳥インフルエンザ事案)

総理指示

- 家きん業者に対し、厳重な警戒を要請するとともに、予防措置について適切な指導・支援を行うこと。
- 現場の情報をしっかり収集すること。
- 鳥インフルエンザと考えられる家きんが確認されたことから、農林水産省はじめ関係各省が緊密に連携し、徹底した防疫措置を迅速に進めること。
- 国民に対して正確な情報を迅速に伝えること。

高病原性鳥インフルエンザ発生状況について

農林水産省

令和4年12月16日

1	高病原性鳥インフルエンザとは	...	1
2	高病原性鳥インフルエンザの発生事例について	...	2
3	総理指示を受けた対応について	...	8
4	専門家の緊急提言を踏まえた防疫対策の再徹底について	...	9
5	防疫措置の進捗状況	...	10
6	過去の発生事例	...	14
7	韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況	...	15
8	世界における高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況	...	16
9	輸出への影響	...	18

1 高病原性鳥インフルエンザとは

(1) 原因（病原体）

○ I Eが作成した診断基準により高病原性鳥インフルエンザウイルスと判定されたA型インフルエンザウイルス

元気消失



(2) 対象家きん

鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥 及び七面鳥

(3) 症状・特徴

元気消失、食餌や飲水量の減少、産卵率の低下、顔の腫れ、トサカや脚の変色（紫色）、咳、鼻水、下痢。

急性例ではこれらの症状を認めず、急死する場合もある。

※人獣共通感染症：海外では、家きん等との密接接触に起因する高病原性鳥インフルエンザウイルスの人の感染及び死亡事例も報告。

(4) 発生状況

渡り鳥により国内に持ち込まれることが多く、冬期に発生しやすい。我が国において、直近では、平成26、28、29、令和2、3年度に発生。

※内閣府食品安全委員会によると、「我が国の現状においては、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザがヒトに感染する可能性はないと考える」としている。

2 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について①

(1)国内1例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 岡山県倉敷市の養鶏場(採卵鶏)、約17万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 2戸・25.5万羽、3km-10km圏内 6戸・86.4万羽、合計 8戸・111.9万羽
- ③発生経緯 : 10月27日(木)、簡易検査陽性と判明。10月28日(金)7時00分に疑似患畜と確定。

(2)国内2例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 北海道厚真町の養鶏場(肉用鶏)、約17万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 2戸・32.3万羽、3km-10km圏内 6戸・38.2万羽、合計 8戸・70.4万羽
- ③発生経緯 : 10月27日(木)、簡易検査陽性と判明。10月28日(金)10時00分に疑似患畜と確定。

(3)国内3例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 香川県観音寺市の養鶏場(採卵鶏)、約4万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 22戸・87.1万羽、3km-10km圏内 66戸・343.9万羽、合計 88戸・431.0万羽
- ③発生経緯 : 10月31日(月)、簡易検査陽性と判明。11月1日(火)5時00分に疑似患畜と確定。

(4)国内4例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 茨城県かすみがうら市の養鶏場(採卵鶏)、約104万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 2戸・99.1万羽、3km-10km圏内 25戸・40.9万羽、合計 27戸・140.0万羽
- ③発生経緯 : 11月3日(木)、簡易検査陽性と判明。11月4日(金)7時00分に疑似患畜と確定。

(5)国内5例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 岡山県倉敷市の養鶏場(採卵鶏)、約51万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 2戸・12.1万羽、3km-10km圏内 7戸・32.4万羽、合計 9戸・44.5万羽
- ③発生経緯 : 11月3日(木)、簡易検査陽性と判明。11月4日(金)8時00分に疑似患畜と確定。

(6)国内6例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 北海道伊達市の養鶏場(肉用鶏)、約15万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 3戸・5.6万羽、3km-10km圏内 9戸・10.4万羽、合計 12戸・16.1万羽
- ③発生経緯 : 11月6日(日)、簡易検査陽性と判明。11月7日(月)14時00分に疑似患畜と確定。

(7)国内7例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 岡山県倉敷市の養鶏場(採卵鶏)、約3.4万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 1戸・7.7万羽、3km-10km圏内 6戸・32.4万羽、合計 7戸・40.1万羽
- ③発生経緯 : 11月10日(木)、簡易検査陽性と判明。11月11日(金)7時00分に疑似患畜と確定。

2 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について②

(8)国内8例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 和歌山県白浜町の家きん飼養施設(あひる等)、約60羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 なし、3km-10km圏内 6戸・0.5万羽、合計 6戸・0.5万羽
- ③発生経緯 : 11月10日(木)、簡易検査陽性と判明。11月11日(金)8時00分に疑似患畜と確定。

(9)国内9例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 兵庫県たつの市の養鶏場(採卵鶏)、約4.4万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 なし、3km-10km圏内 23戸・9.3万羽、合計 23戸・9.3万羽
- ③発生経緯 : 11月12日(土)、簡易検査陽性と判明。11月13日(日)9時00分に疑似患畜と確定。

(10)国内10例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 鹿児島県出水市の養鶏場(採卵鶏)、約12万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 22戸・81.2万羽、3km-10km圏内 85戸・428万羽、合計 107戸・509.2万羽
- ③発生経緯 : 11月17日(木)、簡易検査陽性と判明。11月18日(金)4時00分に疑似患畜と確定。

(11)国内11例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 新潟県阿賀町の養鶏場(肉用鶏)、約15万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 3戸・46.8万羽、3km-10km圏内 1戸・17.7万羽、合計 4戸・64.5万羽
- ③発生経緯 : 11月17日(木)、簡易検査陽性と判明。11月18日(金)7時00分に疑似患畜と確定。

(12)国内12例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 宮崎県新富町の養鶏場(採卵鶏)、約16万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 1戸・1.9万羽、3km-10km圏内 77戸・281.4万羽、合計 78戸・283.3万羽
- ③発生経緯 : 11月19日(土)、簡易検査陽性と判明。11月20日(日)4時00分に疑似患畜と確定。

(13)国内13例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 青森県横浜町の養鶏場(肉用鶏)、約12.2万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 5戸・87万羽、3km-10km圏内 4戸・71万羽、合計 7戸・158万羽
- ③発生経緯 : 11月19日(土)、簡易検査陽性と判明。11月20日(日)15時00分に疑似患畜と確定。

(14)国内14例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 香川県観音寺市の養鶏場(肉用鶏)、約2.4万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 12戸・60.2万羽、3km-10km圏内 89戸・404.8万羽、合計 101戸・465万羽
- ③発生経緯 : 11月21日(月)、簡易検査陽性と判明。11月22日(日)5時00分に疑似患畜と確定。

2 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について③

(15)国内15例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 香川県観音寺市の養鶏場(採卵鶏)、約1.4万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 12戸27.1万羽、3km-10km圏内 57戸・366.1万羽、合計 69戸・393.3万羽
- ③発生経緯 : 11月22日(火)、簡易検査陽性と判明。11月23日(水)5時00分に疑似患畜と確定。

(16)国内16例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 宮城県気仙沼市の養鶏場(肉用鶏)、約2.1万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 2戸1.8万羽、3km-10km圏内 6戸・12.4万羽、合計 8戸・14.2万羽
- ③発生経緯 : 11月22日(火)、簡易検査陽性と判明。11月23日(水)11時00分に疑似患畜と確定。

(17)国内17例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 鹿児島県出水市の養鶏場(採卵鶏)、約7万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 29戸139.4万羽、3km-10km圏内 66戸・313.5万羽、合計 95戸・452.9万羽
- ③発生経緯 : 11月23日(水)、簡易検査陽性と判明。11月24日(木)14時00分に疑似患畜と確定。

(18)国内18例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 千葉県香取市の家きん飼養施設(あひる(あいがも))、約20羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 なし、3km-10km圏内 20戸・127.8万羽、合計 20戸・127.8万羽
- ③発生経緯 : 11月25日(金)、簡易検査陽性と判明。11月26日(土)6時00分に疑似患畜と確定。

(19)国内19例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 鹿児島県出水市の養鶏場(採卵鶏)、約47万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 28戸138.3万羽、3km-10km圏内 59戸・282万羽、合計 87戸・420.3万羽
- ③発生経緯 : 11月26日(土)、簡易検査陽性と判明。11月27日(日)6時00分に疑似患畜と確定。

(20)国内20例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 福島県伊達市の養鶏場(採卵鶏)、約1.7万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 4戸15.2万羽、3km-10km圏内 25戸・79万羽、合計 29戸・94.2万羽
- ③発生経緯 : 11月28日(月)、簡易検査陽性と判明。11月29日(火)6時00分に疑似患畜と確定。

(21)国内21例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 和歌山県和歌山市の養鶏場(採卵鶏)、約4.6万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 なし、3km-10km圏内 4戸・0.3万羽、合計 4戸・0.3万羽
- ③発生経緯 : 11月29日(火)、簡易検査陽性と判明。11月30日(水)7時00分に疑似患畜と確定。

2 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について④

(22)国内22例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 鳥取県鳥取市の養鶏場(採卵鶏)、約11万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 なし、3km-10km圏内 なし
- ③発生経緯 : 11月30日(水)、簡易検査陽性と判明。12月1日(木)5時00分に疑似患畜と確定。

(23)国内23例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 鹿児島県出水市の養鶏場(採卵鶏)、約12万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 15戸・72.7万羽、3km-10km圏内 63戸・269.7万羽、合計78戸・342.4万羽
- ③発生経緯 : 12月1日(木)、簡易検査陽性と判明。12月2日(金)6時00分に疑似患畜と確定。

(24)国内24例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 鹿児島県出水市の養鶏場(採卵鶏)、約3.4万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 16戸・70.4万羽、3km-10km圏内 67戸・311.7万羽、合計83戸・382.1万羽
- ③発生経緯 : 12月3日(土)、簡易検査陽性と判明。12月4日(日)9時00分に疑似患畜と確定。

(25)国内25例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 愛知県豊橋市の養鶏場(採卵鶏)、約31万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 14戸・114.7万羽、3km-10km圏内 29戸・95.6万羽、合計43戸・210.3万羽
- ③発生経緯 : 12月4日(日)、簡易検査陽性と判明。12月5日(月)7時30分に疑似患畜と確定。

(26)国内26例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 佐賀県武雄市の養鶏場(採卵鶏)、約3万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 2戸・0.9万羽、3km-10km圏内 16戸・39.5万羽、合計18戸・40.4万羽
- ③発生経緯 : 12月5日(月)、簡易検査陽性と判明。12月6日(火)5時00分に疑似患畜と確定。

(27)国内27例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 鹿児島県出水市の養鶏場(採卵鶏)、約6万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 15戸・78.8万羽、3km-10km圏内 57戸・219.2万羽、合計72戸・298万羽
- ③発生経緯 : 12月6日(火)、簡易検査陽性と判明。12月7日(水)8時00分に疑似患畜と確定。

(28)国内28例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 福島県飯舘村の養鶏場(採卵鶏)、約10万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 2戸・26羽、3km-10km圏内 24戸・179.3万羽、合計26戸・179.3万羽
- ③発生経緯 : 12月6日(火)、簡易検査陽性と判明。12月7日(水)16時00分に疑似患畜と確定。

2 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑤

(29)国内29例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 山形県鶴岡市の養鶏場(採卵鶏)、約2.7万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 4戸・0.6万羽、3km-10km圏内 21戸・28.0万羽
- ③発生経緯 : 12月7日(水)、簡易検査陽性と判明。12月8日(木)8時00分に疑似患畜と確定。

(30)国内30例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 鹿児島県出水市の養鶏場(採卵鶏)、約6.3万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 11戸・52.1万羽、3km-10km圏内 62戸・260.7万羽、合計73戸・312.8万羽
- ③発生経緯 : 12月7日(水)、簡易検査陽性と判明。12月8日(木)9時00分に疑似患畜と確定。

(31)国内31例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 愛知県豊橋市の家きん農場(あひる(あいがも))、約1000羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 14戸・106.9万羽、3km-10km圏内 32戸・131.1万羽、合計46戸・238.0万羽
- ③発生経緯 : 12月7日(水)、簡易検査陽性と判明。12月8日(木)7時30分に疑似患畜と確定。

(32)国内32例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 鹿児島県出水市の養鶏場(採卵鶏)、約22万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 16戸・41.9万羽、3km-10km圏内 56戸・273.3万羽、合計72戸・315.2万羽
- ③発生経緯 : 12月8日(木)、簡易検査陽性と判明。12月9日(金)12時30分に疑似患畜と確定。

(33)国内33例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 香川県三豊市の養鶏場(採卵鶏)、約8万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 8戸・38.5万羽、3km-10km圏内 76戸・310.7万羽、合計84戸・349.2万羽
- ③発生経緯 : 12月10日(土)、簡易検査陽性と判明。12月11日(日)7時00分に疑似患畜と確定。

(34)国内34例目の概要 (H5N1)

- ①場所・飼養規模 : 鹿児島県出水市の養鶏場(採卵鶏)、約2.2万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 8戸・40.0万羽、3km-10km圏内 59戸・230.7万羽、合計67戸・270.7万羽
- ③発生経緯 : 12月10日(土)、簡易検査陽性と判明。12月11日(日)12時00分に疑似患畜と確定。

(35)国内35例目の概要 (H5亜型)

- ①場所・飼養規模 : 青森県三沢市の養鶏場(採卵鶏)、約137万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 7戸・31万羽、3km-10km圏内 10戸・88万羽、合計17戸・119万羽
- ③発生経緯 : 12月14日(水)、簡易検査陽性と判明。12月15日(木)13時00分に疑似患畜と確定。

2 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑥

(36)国内36例目の概要 (H5亜型)

- ①場所・飼養規模 : 広島県世羅町の養鶏場(採卵鶏)、約12万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 4戸・32.1万羽、3km-10km圏内 16戸・280.0万羽、合計20戸・312.1万羽
- ③発生経緯 : 12月15日(木)、簡易検査陽性と判明。12月16日(金)8時30分に疑似患畜と確定。

(37)国内37例目の概要 (H5亜型)

- ①場所・飼養規模 : 沖縄県金武町の養鶏場(採卵鶏)、約4.5万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 なし、3km-10km圏内 18戸・42.4万羽、合計18戸・42.4万羽
- ③発生経緯 : 12月15日(木)、簡易検査陽性と判明。12月16日(金)9時00分に疑似患畜と確定。

3 総理指示(10月28日)を受けた対応について

<総理指示>(10月28日)

- ① 家きん業者に対し、厳重な警戒を要請するとともに、予防措置について適切な指導・支援を行うこと。
- ② 現場の情報をしっかり収集すること。
- ③ 鳥インフルエンザと考えられる家きんが確認されたことから、農林水産省はじめ関係各省が緊密に連携し、徹底した防疫措置を迅速に進めること。
- ④ 国民に対して正確な情報を迅速に伝えること。

<対応>

- ① 全都道府県に対し、鳥インフルエンザの早期発見及び早期通報並びに飼養衛生管理の徹底を改めて通知し、家きん農場における監視体制の強化を実施。併せて、経営支援対策を周知。
- ② 農林水産省政務による都道府県知事との意見交換を実施するとともに、疫学、野鳥等の専門家からなる疫学調査チームを派遣。
- ③ 関係省庁^(※)と連携し、都道府県が実施する防疫措置(当該農場の飼養家きんの殺処分及び焼埋却、移動制限区域・搬出制限区域の設定、消毒ポイントの設置等)について、職員の派遣等、必要に応じた支援を実施。(また、環境省において発生農場周辺半径10kmを「野鳥監視重点区域」に指定し、県に野鳥の監視を強化するよう要請。)
- ④ 消費者、流通業者、製造業者等に対し、鳥インフルエンザに関する正しい知識の普及等(鶏肉・鶏卵の安全性の周知、発生県産の鶏肉・鶏卵の適切な取扱いの呼び掛け等)を実施。

(※)関係各省:消費者庁、警察庁、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省及び防衛省

4 専門家の緊急提言(11月28日)を踏まえた防疫対策の再徹底について

令和4年11月28日の家きん疾病小委員会における緊急提言を踏まえ、以下のチラシを活用して、防疫対策再徹底の呼びかけを実施。

農場周辺の高病原性鳥インフルエンザのウイルスが 非常に多くなっています！

全国的に高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。これまで以上に、本病の発生予防を徹底しましょう！

家きん舎への人や、野生動物によるウイルスの侵入を防ぐことが特に重要です！

発生予防対策の特に重要なポイント

- 農場内や家きん舎周囲の消毒は毎日行いましょう！
- 家きん舎等への出入り時に消毒の実施・長靴の交換が適切にできているか、動線が交差していないか、今一度、点検・確認をお願いします！
- 長靴はしっかり汚れを落としてから消毒し、踏込消毒槽などの消毒薬は少なくとも毎日、汚れたらその都度、交換しましょう！
- 農場内や家きん舎の周囲にはウイルスが侵入する経路が多く存在していますので、今一度、点検・確認をお願いします！



◆ 飼養家きんの毎日の健康観察を念入りに行い、異状を見つけた場合は、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に連絡してください。

農林水産省HP「鳥インフルエンザに関する情報」→



高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況①

令和4年12月16日 10時30分現在

事例数：19道県、37事例（防疫措置対象：42農場 4施設 約625万羽）					農林水産省 対策本部	防疫対応状況（予定は最短の場合）				
発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	措置完了日(0日目)		10日目		21日目		
						防疫措置（殺処分、消毒等） 開始	完了	清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除
①	岡山 1	養鶏場 (岡山県倉敷市)	令和4年 10月28日	約17万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	10月27日	10月28日 7時00分	11月3日 12時55分	11月18日 終了	11月18日 20時00分	11月25日 0時00分
②	北海道 1	養鶏場 (北海道厚真町)	令和4年 10月28日	約17万羽 (肉用鶏・平飼い)	10月28日	10月28日 10時30分	11月3日 8時00分	11月19日 終了	11月20日 0時00分	11月25日 0時00分
③	香川 1	養鶏場 (香川県観音寺市)	令和4年 11月1日	約4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	10月31日	11月1日 5時00分	11月4日 17時00分	11月19日 終了	11月20日 0時00分	
④	茨城 1	養鶏場 (茨城県かすみがうら市)	令和4年 11月4日	約104万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月3日	11月4日 7時00分	11月22日 18時00分	12月7日 終了	12月8日 0時00分	12月14日 0時00分
⑤	岡山 2	養鶏場 (岡山県倉敷市)	令和4年 11月4日	約51万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月4日 (持ち回り)	11月4日 8時00分	11月18日 13時30分	12月3日 終了	12月3日 17時00分	12月10日 0時00分
⑥	北海道 2	養鶏場 (北海道伊達市)	令和4年 11月7日	約15万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月7日 (持ち回り)	11月7日 14時00分	11月13日 8時00分	11月29日 終了	11月30日 0時00分	12月5日 0時00分
⑦	岡山 3	養鶏場 (岡山県倉敷市)	令和4年 11月11日	約3.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月11日 (持ち回り)	11月11日 7時00分	11月18日 13時30分	12月3日 終了	12月3日 17時00分	12月10日 0時00分
⑧	和歌山 1	家きん飼養施設 (和歌山県白浜町)	令和4年 11月11日	約60羽 (あひる等)	11月11日 (持ち回り)	11月11日 9時20分	11月12日 5時00分	—	11月23日 0時00分	12月4日 0時00分
⑨	兵庫 1	養鶏場 (兵庫県たつの市)	令和4年 11月13日	約4.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月12日	11月13日 9時00分	11月15日 20時00分	—	11月26日 0時00分	12月7日 0時00分
⑩	鹿児島 1	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 11月18日	約12万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月17日	11月18日 4時00分	11月21日 8時00分			
⑪	新潟 1	養鶏場 (新潟県阿賀町)	令和4年 11月18日	約15万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月17日	11月18日 7時00分	11月24日 12時00分	12月10日 終了	12月11日 0時00分	12月16日 0時00分
⑪' (関連)	新潟 1'	食鳥処理場 (新潟県新発田市)	—	約0.6万羽 (肉用鶏)		11月18日 7時00分	11月18日 22時00分	—	—	—
⑫	宮崎 1	養鶏場 (宮崎県新富町)	令和4年 11月20日	約16万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月19日 (持ち回り)	11月20日 4時00分	11月22日 18時00分	12月7日 終了	12月7日 14時00分	12月14日 0時00分
⑬	青森 1	養鶏場 (青森県横浜町)	令和4年 11月20日	約12.2万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月20日 (持ち回り)	11月20日 15時00分	11月24日 11時30分	12月9日 終了	12月9日 18時00分	12月16日 0時00分
⑬' (関連)	青森 1'	食鳥処理場 (青森県横浜町)	—	約0.8万羽 (肉用鶏)		11月20日 15時00分	11月21日 16時30分	—	—	

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況②

令和4年12月16日 10時30分現在

事例数：19道県、37事例（防疫措置対象：42農場 4施設 約625万羽）					防疫対応状況（予定は最短の場合）					
発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	農林水産省 対策本部	措置完了日(0日目)		10日目			
					防疫措置（殺処分、消毒等） 開始	完了	清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
⑭	香川 2	養鶏場 (香川県観音寺市)	令和4年 11月22日	約2.4万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月22日 (持ち回り)	11月22日 5時00分	11月26日 18時15分	12月11日 終了	12月12日 0時00分	
⑭' (関連)	香川 2'	養鶏場 (香川県観音寺市)	—	約0.9万羽 (肉用鶏)		11月22日 5時00分	11月26日 18時15分	—	—	
⑮	香川 3	養鶏場 (香川県観音寺市)	令和4年 11月23日	約1.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月23日 (持ち回り)	11月23日 5時00分	11月26日 18時15分	12月11日 終了	12月12日 0時00分	
⑮' (関連)	香川 3'	養鶏場 (香川県観音寺市)	—	約0.8万羽 (採卵鶏)		11月23日 5時00分	11月26日 18時15分	—	—	
⑮' (関連)	香川 3'	養鶏場 (香川県観音寺市)	—	約1.2万羽 (採卵鶏)		11月23日 5時00分	11月26日 18時15分	—	—	
⑯	宮城 1	養鶏場 (宮城県気仙沼市)	令和4年 11月23日	約2.1万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月23日 (持ち回り)	11月23日 11時00分	11月24日 20時45分	—	12月5日 0時00分	12月16日 0時00分
⑰	鹿児島 2	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 11月24日	約7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月24日 (持ち回り)	11月24日 14時00分	11月27日 9時00分			
⑰' (関連)	鹿児島 2'	養鶏場 (鹿児島県出水市)	—	約0.8万羽 (採卵鶏)		11月24日 14時00分	11月27日 9時00分			
⑱	千葉 1	家きん飼養施設 (千葉県香取市)	令和4年 11月26日	約20羽 (あひる(あいがも))	11月26日 (持ち回り)	11月26日 6時00分	11月26日 8時24分	—	12月7日 0時00分	
⑲	鹿児島 3	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 11月27日	約47万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月27日 (持ち回り)	11月27日 6時00分	12月8日 16時00分			
⑳	福島 1	養鶏場 (福島県伊達市)	令和4年 11月29日	約1.7万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月28日	11月29日 6時00分	11月30日 21時50分	12月15日 終了	12月15日 16時00分	
㉑	和歌山 2	養鶏場 (和歌山県和歌山市)	令和4年 11月30日	約4.6万羽 (採卵鶏・平飼い)	11月30日 (持ち回り)	11月30日 7時00分	12月4日 18時30分	—	12月15日 0時00分	
㉒	鳥取 1	養鶏場 (鳥取県鳥取市)	令和4年 12月1日	約11万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月30日	12月1日 5時00分	12月5日 17時00分	—	12月16日 0時00分	
㉓	鹿児島 4	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月2日	約12万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月2日 (持ち回り)	12月2日 6時00分	12月5日 4時00分			
㉔	鹿児島 5	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月4日	約3.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月4日 (持ち回り)	12月4日 9時00分	12月6日 19時00分			
㉕	愛知 1	養鶏場 (愛知県豊橋市)	令和4年 12月5日	約31万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月4日	12月5日 7時30分	12月15日 8時00分			

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況③

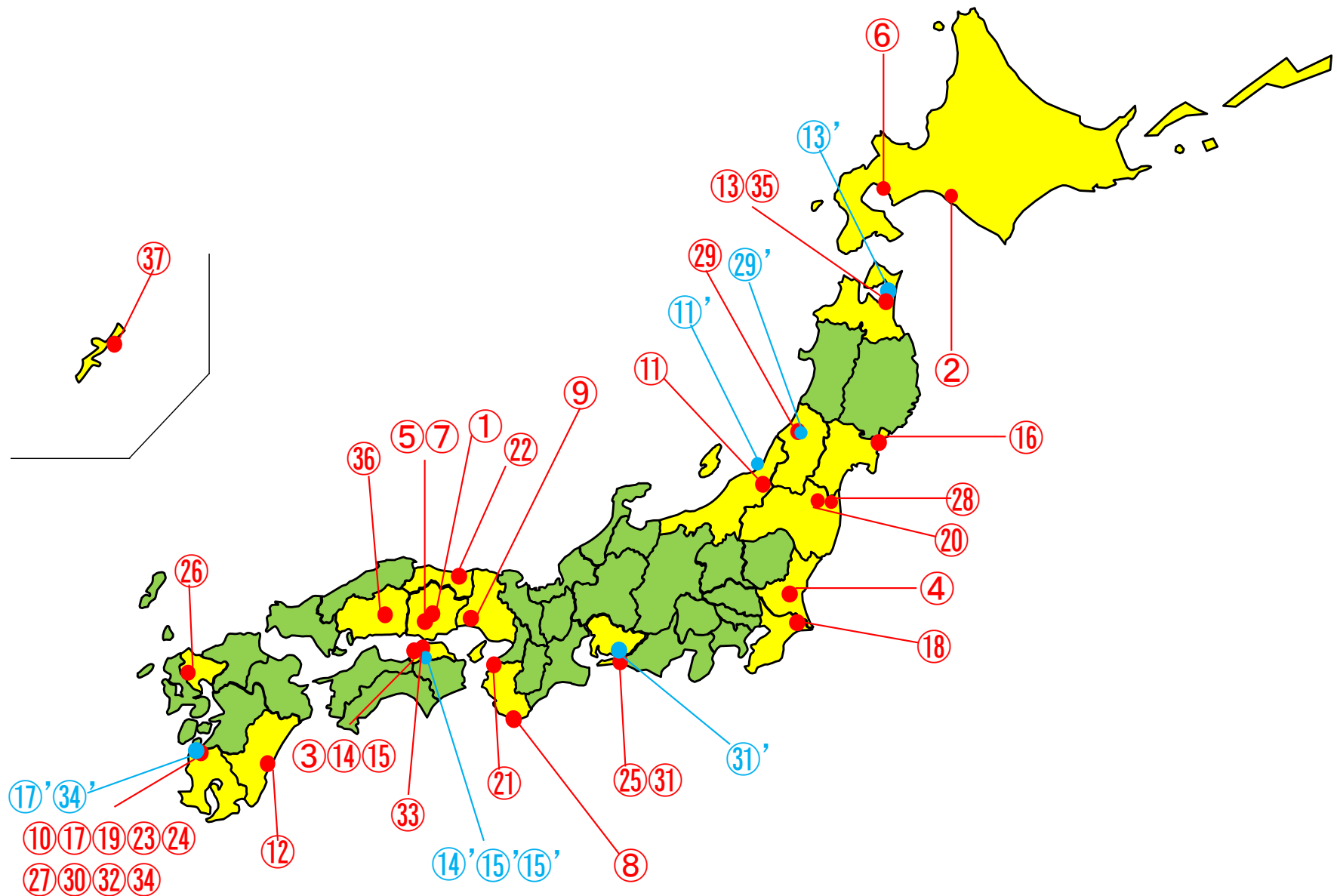
令和4年12月16日 10時30分現在

事例数：19道県、37事例（防疫措置対象：42農場 4施設 約625万羽）					農林水産省 対策本部	防疫対応状況（予定は最短の場合）				
発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	措置完了日(0日目)		10日目		～		21日目
						防疫措置（殺処分、消毒等） 開始	完了	清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除
②⑥	佐賀 1	養鶏場 (佐賀県武雄市)	令和4年 12月6日	約3万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月5日	12月6日 5時00分	12月7日 22時26分			
②⑦	鹿児島 6	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月7日	約6万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日 (持ち回り)	12月7日 8時00分	12月14日 16時00分			
②⑧	福島 2	養鶏場 (福島県飯舘村)	令和4年 12月7日	約10万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日 (持ち回り)	12月7日 16時00分	12月11日 20時00分			
②⑨	山形 1	養鶏場 (山形県鶴岡市)	令和4年 12月8日	約2.7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日	12月8日 8時00分	12月12日 19時40分			
②⑨' (関連)	山形 1'	養鶏場 (山形県庄内町)	—	約4万羽 (採卵鶏)	—	12月8日 8時00分	12月12日 19時40分			
③⑩	鹿児島 7	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月8日	約6.3万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日	12月7日 9時00分	12月14日 16時00分			
③⑪	愛知 2	家さん農場 (愛知県豊橋市)	令和4年 12月8日	約1000羽 (あひる(あいがも))	12月8日 (持ち回り)	12月7日 7時30分	12月9日 11時10分			
③⑪' (関連)	愛知 2'	家さん農場 (愛知県豊橋市)	—	約1000羽 (あひる(あいがも))	—	12月7日 7時30分	12月9日 11時10分			
③⑫	鹿児島 8	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月9日	約22万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月9日 (持ち回り)	12月9日 12時30分	12月14日 16時00分			
③⑬	香川 4	養鶏場 (香川県三豊市)	令和4年 12月11日	約8万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月11日 (持ち回り)	12月11日 7時00分	12月15日 16時10分			
③⑭	鹿児島 9	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月11日	約2.2万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月11日 (持ち回り)	12月11日 12時00分	12月15日 16時00分			
③⑭' (関連)	鹿児島 9'	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月11日	約7.4万羽 (採卵鶏)	12月11日 (持ち回り)	12月11日 12時00分	12月15日 16時00分			
③⑮	青森 2	養鶏場 (青森県三沢市)	令和4年 12月15日	約137万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月15日 (持ち回り)	12月15日 13時00分				
③⑯	広島 1	養鶏場 (広島県世羅町)	令和4年 12月16日	約12万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月15日	12月16日 8時30分				
③⑰	沖縄 1	養鶏場 (沖縄県金武町)	令和4年 12月16日	約4.5万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月15日	12月16日 9時00分				

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況④



6 過去の発生事例～近年の高病原性鳥インフルエンザの発生とその対応

＜平成15年度の発生＞ H5N1亜型（高病原性）

1～3月…3府県4事例 約27万羽（山口県、大分県、京都府）
 （※我が国で79年ぶりとなる高病原性鳥インフルエンザの発生）

＜平成18年度の発生＞ H5N1亜型（高病原性）

1～2月…2県4事例 約16万羽（宮崎県、岡山県）

＜平成22年度の発生＞ H5N1亜型（高病原性）

11～3月…9県24事例 約183万羽（島根県、宮崎県、鹿児島県、愛知県、大分県、三重県、奈良県、和歌山県、千葉県）

＜平成26年度の発生＞ H5N8亜型（高病原性）

4月…1県1事例 約10万羽（熊本県）
 12～1月…4県5事例 約35万羽（宮崎県、山口県、岡山県、佐賀県）

＜平成28年度の発生＞ H5N6亜型（高病原性）

11～3月…9道県12事例 約166万羽（青森県、新潟県、北海道、宮崎県、熊本県、岐阜県、佐賀県、宮城県、千葉県）

＜平成29年度の発生＞ H5N6亜型（高病原性）

平成30年1月…1県1事例 約9.1万羽（香川県）

＜令和2年度の発生＞ H5N8亜型（高病原性）

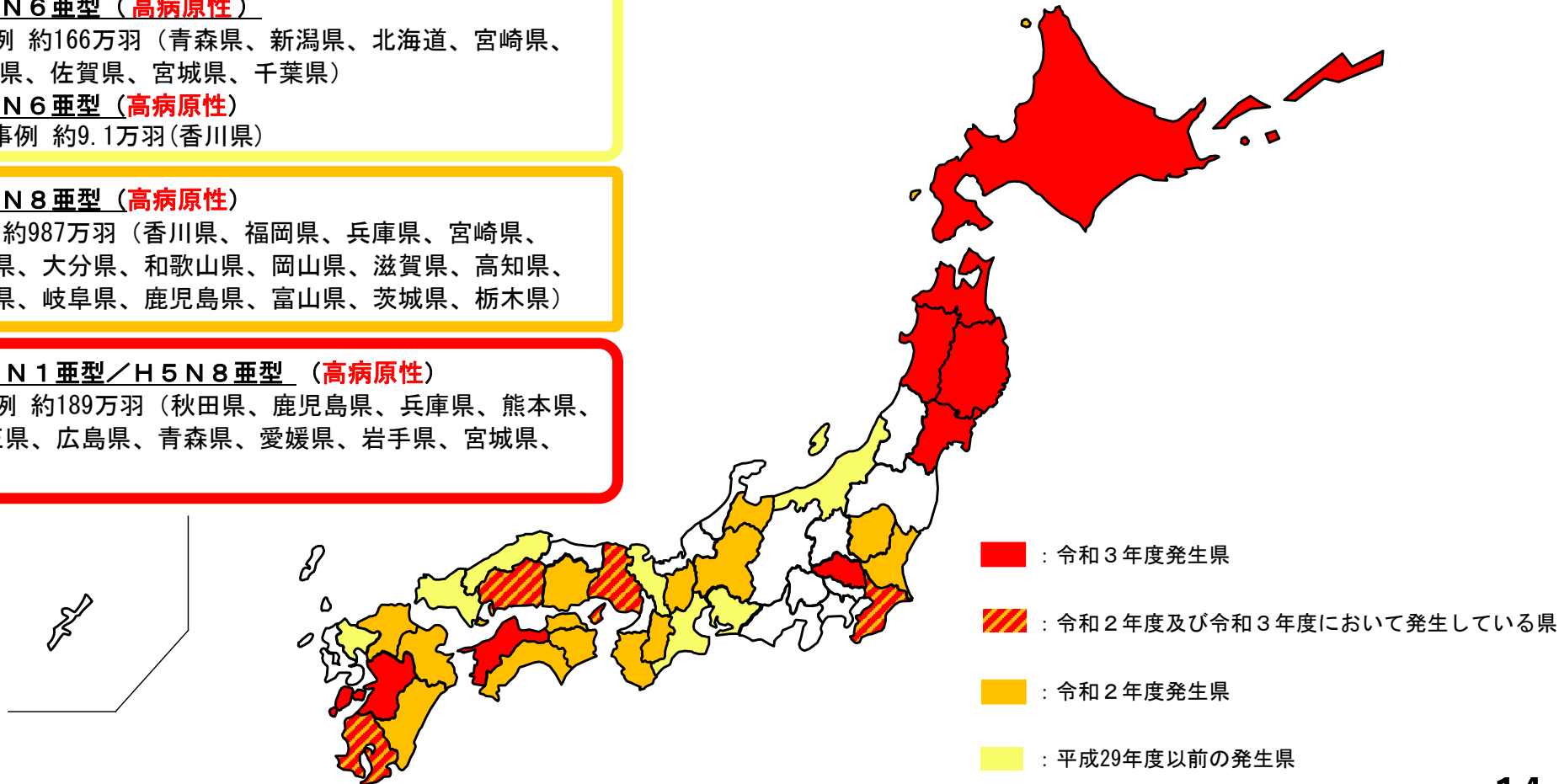
11～3月…18県52事例 約987万羽（香川県、福岡県、兵庫県、宮崎県、奈良県、広島県、大分県、和歌山県、岡山県、滋賀県、高知県、徳島県、千葉県、岐阜県、鹿児島県、富山県、茨城県、栃木県）

＜令和3年度の発生＞ H5N1亜型／H5N8亜型（高病原性）

11～5月…12道県25事例 約189万羽（秋田県、鹿児島県、兵庫県、熊本県、千葉県、埼玉県、広島県、青森県、愛媛県、岩手県、宮城県、北海道）

※野鳥における発生（高病原性）

- ・平成20年 全3県
- ・平成22～23年 全16県
 （他3県における動物園等の飼育鳥からウイルスを確認）
- ・平成26～27年 全6県12例（H5N8型）
- ・平成28～29年 全22都道府県 218例（H5N6型）
- ・平成29～30年 全3都県45例（H5N6型）
- ・令和2～3年 全18道県58例（H5N8型）
- ・令和3～4年 全8道府県107例（H5N1型/ H5N8型）



7 韓国の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2022年10月以降)

出典：韓国農林畜産食品部

※日付は症状が確認された日または検体採取日

※*は病原性検査中事例

※★は初発生日(2022年10月17日)

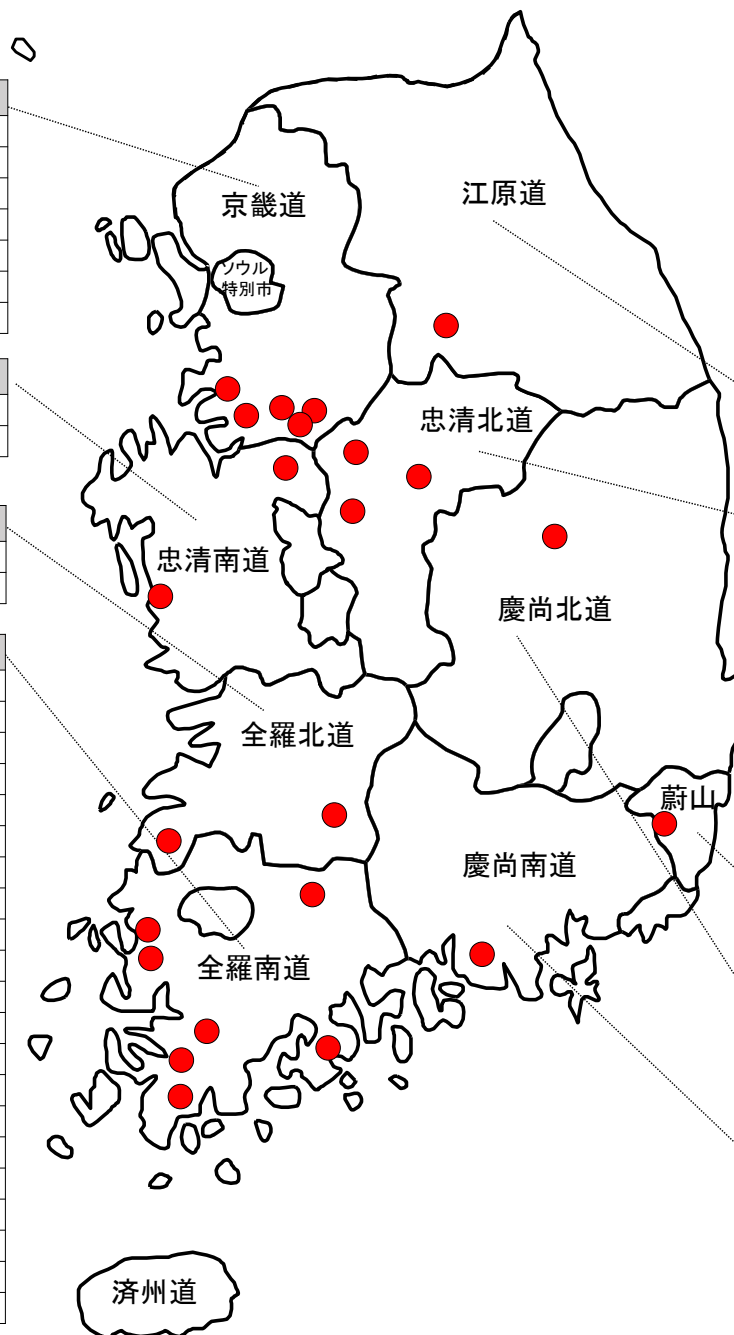
2022年12月15日現在

京畿道				
2022.11.15	龍仁市	肉用種鶏	約4.2万羽	H5N1
2022.11.16	華城市	肉用種鶏	約2.4万羽	H5N1
2022.11.17	平沢市	採卵鶏	約0.6万羽	H5N1
2022.11.23	平沢市	採卵鶏	約3.5万羽	H5N1
2022.11.26	利川市	採卵鶏	約17万羽	H5N1
2022.11.29	安城市	肉用アヒル	約1.2万羽	H5N1
2022.12.14	安城市	採卵鶏	約32万羽	H5N1

忠清南道				
2022.11.9	天安市	種アヒル	約0.8万羽	H5N1
2022.11.26	洪城市	観賞用鳥類	124羽	H5N1

全羅北道				
2022.11.5	淳昌郡	採卵鶏	約15.5万羽	H5N1
2022.12.2	高敞郡	肉用アヒル	約0.9万羽	H5N1

全羅南道				
2022.11.15	長興郡	肉用アヒル	約1.1万羽	H5N1
2022.11.22	羅州市	肉用アヒル	約7.9万羽	H5N1
2022.11.26	高興郡	肉用アヒル	約2.6万羽	H5N1
2022.11.28	羅州市	採卵鶏	約5.5万羽	H5N1
2022.11.28	羅州市	肉用アヒル	約4.5万羽	H5N1
2022.12.1	羅州市	肉用アヒル	約1.4万羽	H5N1
2022.12.2	羅州市	肉用アヒル	約2.0万羽	H5N1
2022.12.3	務安郡	種アヒル	約0.8万羽	H5N1
2022.12.3	咸平郡	採卵鶏	約40万羽	H5N1
2022.12.4	咸平郡	採卵鶏	約8.0万羽	H5N1
2022.12.5	羅州市	肉用アヒル	約1.2万羽	H5N1
2022.12.8	務安郡	種アヒル	約0.6万羽	H5N1
2022.12.8	谷城郡	肉用アヒル	約1.3万羽	H5N1
2022.12.8	靈岩郡	採卵鶏	約9.1万羽	H5N1
2022.12.9	務安郡	種アヒル	約0.9万羽	H5N1
2022.12.10	靈岩郡	肉用鶏	約12万羽	H5N1
2022.12.11	務安郡	肉用アヒル	約1.5万羽	H5N1
2022.12.11	靈岩郡	肉用アヒル	約2.9万羽	H5N1
2022.12.11	靈岩郡	採卵鶏	約3.9万羽	H5N1
2022.12.12	咸平郡	採卵鶏	約5.4万羽	H5N1
2022.12.12	海南郡	肉用アヒル	約3.6万羽	H5N1



月	事例数	殺処分羽数
10月	3	約6万
11月	24	約142万
12月	19	約129万
計	46	約277万

※農林水産省にて発生報告ごとに累計
※予防的殺処分等は含まず
※事例数等は病原性が確定した事例のみ記載

江原道				
2022.11.14	原州市	採卵鶏	約6.7万羽	H5N1

忠清北道				
2022.10.26	鎮川郡	肉用アヒル	約1.8万羽	H5N1
2022.11.3	清州市	肉用アヒル	約1.2万羽	H5N1
2022.11.4	清州市	肉用鶏	約5.6万羽	H5N1
2022.11.4	清州市	肉用アヒル	約1.3万羽	H5N1
2022.11.8	清州市	ウズラ	約49.8万羽	H5N1
2022.11.9	清州市	肉用アヒル	約2.2万羽	H5N1
2022.11.10	清州市	種アヒル	約0.4万羽	H5N1
2022.11.12	忠州市	肉用アヒル	約0.7万羽	H5N1
2022.11.17	清州市	種アヒル	約0.8万羽	H5N1

蔚山広域市				
2022.11.28	蔚州郡	採卵鶏	約6.5万羽	H5N1

慶尚北道				
★2022.10.17	醴泉郡	種アヒル	約1.0万羽	H5N1
2022.10.21	醴泉郡	肉用種鶏	約3.2万羽	H5N1

慶尚南道				
2022.12.12	晋州市	肉用アヒル	約1.6万羽	H5N1

●：発生地点

8 世界における高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2021年以降)①

ヨーロッパ

			スウェーデン	H5 (高) H5N1 (高)	[2021.5.25] 2022.2.23		フィンランド	H5N1 (高) H5N8 (高)	[2022.8.16] 2021.2.8
アイスランド	H5N1 (高)	2022.4.15 [2022.9.22]		H5N5 (高)	[2022.10.5] 2021.3.2				[2021.11.9]
アイルランド	H5N1 (高)	2021.12.17 [2022.10.17]		H5N8 (高)	[2021.5.25] 2021.4.19		フェロー諸島	H5N1 (高)	2022.10.14 [2022.6.18]
	H5N3 (高) H5N8 (高)	[2021.1.8] [2021.1.29]	スバルバル諸島	H5N5 (高) H5N1 (高)	[2021.10.13] [2022.6]		フランス	H5N1 (高)	2022.10.20 [2022.10.19]
アルバニア	H5N1 (高) H5N8 (高)	[2022.3.18] 2022.3.23	スペイン	H5N8 (高) H5N1 (高)	2022.9.17 [2022.10.21]			H5N8 (高)	2021.4.26 [2021.9.11]
イタリア	H5N1 (高)	2022.10.21 [2022.10.12]	スロバキア	H5N8 (高) H5N1 (高)	[2021.1.26] 2022.5.24			H7N7 (高) H5N3 (低)	[2021.9.14] 2021.3.9
	H5N8 (高)	2021.2.19 [2021.2.1]		H5N5 (高) H5N8 (高)	2021.1.22 [2022.2.7]		ブルガリア	H5 (高) 不明 (高)	2022.6.9 2022.10.21
ウクライナ	H7N7 (低) H5 (高)	2021.1.29 2021.12.12	スロベニア	H5N8 (高) H5N1 (高)	[2021.1.15] 2021.12.26				[2022.4.8]
		[2021.4.2]	セルビア	H5N1 (高) H5N2 (高)	[2022.10.19] [2021.11.13]		ベルギー	H5 (高) H5N1 (高)	[2022.7.8] 2022.10.21
英国	H5N8 (高) H5N1 (高)	2021.2.16 2022.10.20		H5N8 (高)	[2021.9.26] [2021.10.8]				[2022.10.19]
	H5N3 (高) H5N8 (高)	[2022.10.20] [2021.1.14]	チェコ	H5 (高) H5N1 (高)	[2021.10.8] 2021.9.27			H5N5 (高) H5N8 (高)	2021.1.26 [2021.8.31]
		2021.3.21 [2021.11.7]		H5N1 (高)	2022.4.13 [2022.1.29]		ポーランド	H5N1 (高)	2022.9.20 [2022.7.14]
エストニア	H5N1 (高) H5N8 (高)	[2022.3.18] 2021.10.21		H5N5 (高) H5N8 (高)	[2021.2.24] 2021.5.17			H5N2 (高) H5N5 (高)	2022.2.28 [2021.1.31]
オーストリア	H5N1 (高)	[2021.9.27] 2022.1.20	デンマーク	H5 (高) H5N1 (高)	2021.10.30 2022.3.28			H5N8 (高)	2021.8.9 [2021.6.17]
	H5N5 (高) H5N8 (高)	[2022.4.8] [2021.2.25]		H5N3 (高) H5N5 (高)	[2022.10.25] [2021.4.29]		ポルトガル	H5N1 (高)	2022.9.28 [2022.9.16]
オランダ	H5N1 (高)	2022.4.27 2022.10.15		H5N8 (高)	[2021.3.19] 2022.1.6		ボスニア・ヘル ツェゴビナ	H5N1 (高)	[2021.11.1]
	H5N3 (高) H5N4 (高) H5N8 (高)	[2022.10.7] [2021.1.4] [2021.3.4]	ドイツ	H5N1 (高)	2022.1.6 [2022.1.3] 2022.10.16		モルドバ	H5N1 (高) 不明 (高)	2022.8.6 2022.5.13
		2021.5.21 [2021.12.1]		H5N3 (高) H5N4 (高) H5N5 (高)	[2022.9.30] [2021.12.22] [2021.4.16]		モンテネグロ	H5N1 (高)	[2022.4.4]
北マケドニア	H5N1 (高)	[2022.2.17]		H5N5 (高)	2021.3.4 [2021.3.10]		ラトビア	H5N1 (高) H5N8 (高)	[2022.1.17] [2021.3.16]
ギリシャ	H5N1 (高) H5N8 (高)	2022.4.18 [2021.3.30]		H5N8 (高)	2021.6.23 [2021.7.1]		リトアニア	H5N1 (高) H5N8 (高)	[2022.6.23] 2021.6.2
クロアチア	H5N1 (高)	2022.5.25 [2022.2.9]	ノルウェー	H5 (高) H5N1 (高)	2021.11.16 2022.10.20		リユニオン	H5N1 (高) H7N7 (高)	[2022.6.23] [2022.10.12]
スイス	H5N8 (高) H5N1 (高)	[2021.3.14] 2021.11.23		H5N5 (高) H5N8 (高)	[2022.8.10] [2022.7.7] [2021.7.29]		ルクセンブルク	H5N1 (高) H5N8 (高)	2021.3.26 [2022.2.4] [2021.9.3]
	H5N4 (高)	[2022.3.7] [2021.2.4]	ハンガリー	H5N1 (高)	2022.6.7 [2022.5.30]		ルーマニア	H5N1 (高)	2022.3.26 [2022.3.17]
				H5N5 (高) H5N8 (高)	[2021.2.23] 2021.2.1 [2021.3.2]			H5N5 (高) H5N8 (高)	[2021.2.19] 2021.5.13 [2021.1.13]

※日付は発生日又は検体回収日に基づく
 ※[]は野鳥及び愛玩鳥等における発生を示す
 ※本図は発生の有無を示したもので、
 その後の清浄性確認については記載していない
 ※型別に最新の発生事例を記載

2022年11月1日現在

出典:OIE等

8 世界における高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2021年以降)②

南北アメリカ

米国	H5 (高)	[2021.12.30]
	H5N1 (高)	2022.10.19 [2022.10.6]
カナダ	H5N3 (低)	2022.1.5
	H5N1 (高)	2022.10.14 [2022.10.14]
メキシコ	H7N3 (高)	2022.4.21
	H5N1 (高)	[2022.10.11]
コロンビア	H5N1 (高)	[2022.10.5]

アジア

中国	H5N1 (高)	[2022.7.9]
	H5N6 (高)	[2021.4.8]
	H5N8 (高)	[2021.6.11]
韓国	H5 (高)	[2021.12.1]
	H5N1 (高)	2022.10.26 [2022.3.24]
	H5N8 (高)	2021.4.6 [2022.1.24]
	H5N2 (低)	[2021.11.23]
	H5N3 (低)	[2021.12.9]
	H5N8 (低)	[2021.11.1]
	H7N7 (低)	[2021.12.16]
	H7N9 (低)	[2021.11.2]
台湾	H5N1 (高)	[2022.5.24]
	H5N2 (高)	2022.7.12 [2022.2.23]
	H5N5 (高)	2021.12.16 [2021.1.11]
香港	H5N1 (高)	[2022.1.21]
	H5N8 (高)	[2021.1.28]
インド	H5N1 (高)	2022.3.30 [2021.11.18]
	H5N8 (高)	2021.3.15 [2021.11.28]
イラン	H5N5 (高)	2021.12.11
	H5N8 (高)	2021.6.9 [2021.11.28]
イスラエル	H5N1 (高)	2022.1.9 [2022.1.27]
	H5N8 (高)	[2022.5.6]
ネパール	H5N1 (高)	2022.6.3 [2022.2.22]
	H5N8 (高)	2021.5.22
フィリピン	H5N1 (高)	2022.7.25
	H5N8 (高)	2022.2.28
ベトナム	H5N1 (高)	2022.10.14
	H5N6 (高)	2021.8.26
	H5N8 (高)	2021.12.22
ラオス	H5 (高)	2021.8.29
カンボジア	H5N1 (高)	2021.1.5

中東

イラク	H5N8(高)	2022.6.6
クウェート	H5N8(高)	2021.3.19
アフガニスタン	H5N8(高)	2021.2.7
パキスタン	H5(高)	2021.11.25
	H5N8(高)	2021.8.5

ロシア・NIS諸国

ロシア	H5 (高)	2021.12.1 [2022.3.15]
	H5N1 (高)	2022.8.12 [2022.10.10]
	H5N5 (高)	[2021.3.30]
	H5N8 (高)	2021.1.27 [2021.1.5]
カザフスタン	H5 (高)	2021.9.28 [2022.6.19]

アフリカ

南アフリカ共和国	H5 (高)	2021.5.13
	H5N1 (高)	2022.10.4 [2022.5.23]
	H5 (低)	2021.7.14 [2021.7.5]
	H5N2 (低)	2021.3.25
	H7 (低)	2021.2.4
セネガル	H5N1 (高)	[2022.1.25]
ナイジェリア	H5N1 (高)	2022.4.26
モーリタニア	H5N1 (高)	2021.1.27
アルジェリア	H5N8 (高)	2021.1.17 [2021.2.22]
ニジェール	H5N1 (高)	2022.1.12
マリ	H5N1 (高)	2022.3.3
レソト	H5 (高)	2021.5.28
トーゴ	H5N1 (高)	2022.1.1
ガーナ	H5 (高)	2021.6.26
コートジボワール	H5N1 (高)	2021.11.21
ベナン	H5 (高)	2021.7.27
	H5N1 (高)	2021.10.5
ボツワナ	H5N1 (高)	2021.7.24
カメルーン	H5N1 (高)	2022.1.29
ナミビア	H5N1 (高)	[2022.2.2]
ブルキナファソ	H5N1 (高)	2021.12.15
ギニア	H5N1 (高)	2022.5.10

※日付は発生日又は検体回収日に基づく
 ※[]は野鳥及び愛玩鳥等における発生を示す
 ※本図は発生の有無を示したもので、
 その後の清浄性確認については記載していない
 ※型別に最新の発生事例を記載

2022年11月1日現在

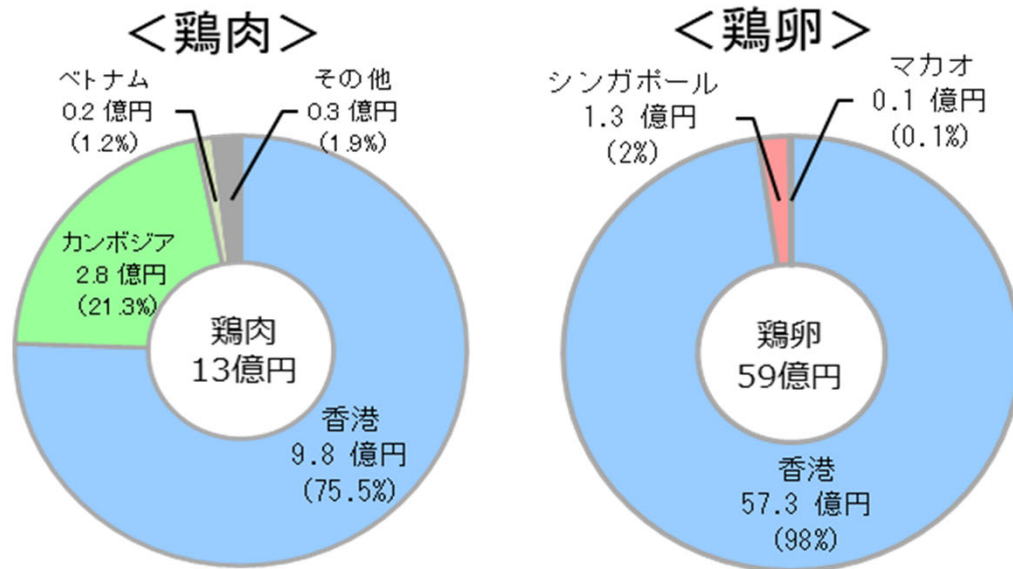
出典:OIE等

9 輸出への影響

- 1 高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認を受け、日本全国の家きん肉及び卵に対する輸出検疫証明書の交付を一時停止。
- 2 速やかに輸出相手国との協議を行い、非発生県からの輸出を再開。
- 3 防疫措置完了から一定期間*発生がないことを確認した上で、発生県からの輸出再開に向けた協議を行う。

* OIEコードでは、防疫措置完了から28日と規定

【鶏肉及び鶏卵の輸出実績(2021年)】



【輸出再開状況】

輸出先	非発生県からの輸出
香港	10月28日に輸出再開
台湾	10月28日に輸出再開
カンボジア	制限区域以外から輸出可能*
シンガポール	11月7日に輸出再開
ベトナム	11月4日に輸出再開
マカオ	11月4日に輸出再開
米国	11月4日に輸出再開

* カンボジアは、日本国内で流通している家きん肉・肉製品の輸入を認めている。

家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ発生の疑い事例に係る
環境省の対応について

令和4年12月16日
環境省自然環境局

1. 広島県世羅町の家きん農場における高病原性鳥インフルエンザ発生の疑い事例に対する環境省の対応は、以下のとおり。

- 発生農場周辺半径 10km 圏内を「野鳥監視重点区域」に指定し、広島県に野鳥の監視を強化するよう要請。
- 環境省中国四国地方環境事務所に、広島県と連携し現地周辺の野鳥に関する情報収集を行うよう指示。
- 広島県と調整の上、野鳥での感染状況の把握等を目的として、区域内の渡り鳥の飛来状況や鳥類の生息状況等の調査を実施予定。

2. 沖縄県金武町の家きん農場における高病原性鳥インフルエンザ発生の疑い事例に対する環境省の対応は、以下のとおり。

- 発生農場周辺半径 10km 圏内を「野鳥監視重点区域」に指定し、沖縄県に野鳥の監視を強化するよう要請。
- 環境省沖縄奄美自然環境事務所に、沖縄県と連携し現地周辺の野鳥に関する情報収集を行うよう指示。
- 沖縄県と調整の上、野鳥での感染状況の把握等を目的として、区域内の渡り鳥の飛来状況や鳥類の生息状況等の調査を実施予定。

(参考) 野鳥の監視等の具体的な内容

- 10月～翌年4月にかけて全国の冬鳥の渡来地で野鳥糞便を採集するとともに、通年で死亡野鳥等から検体を採取し、ウイルスの保有状況に関する調査を実施(野鳥サーベイランス)。
- 国内の複数箇所でも高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された場合、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを最高レベルの「対応レベル3」として、野鳥監視を強化。
- 死亡野鳥、野鳥糞便、環境試料(水)及び家きんにおいて高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された各地点の周辺半径 10km 圏内を「野鳥監視重点区域」に指定。同区域内では野鳥での感染状況の把握等を目的とした渡り鳥の飛来状況や鳥類の生息状況等の調査を実施。

※今シーズンの発生状況（令和4年12月16日15時現在）

- ・家きん：1道18県37例（別表のとおり野鳥監視重点区域を指定）
- ・野鳥：1道18県117例
- ・飼養鳥：3県4例

令和4（2022）年シーズン家きんにおける野鳥監視重点区域の指定状況

家きん ○例目	場所		検体情報	簡易検査陽性 結果判明日	PCR検査による 疑似患畜確定日	野鳥監視重点区域		
	都道府県	市町村				指定日	防疫措置完了日 (消毒終了)	解除日 (防疫措置が完了した日の 次の日を1日目として 28日目の24時に解除)
1例目	岡山県	倉敷市	採卵鶏	10/27	10/28	10/28	11/3	12/16予定 (家きん5例目・7例目と重複)
2例目	北海道	厚真町	肉用鶏	10/27	10/28	10/28	11/3	12/30予定 (野鳥101例目と重複)
3例目	香川県	観音寺市	採卵鶏	10/31	11/1	11/1	11/4	1/10予定 (野鳥・12/13多度津町アオサ ギと重複)
4例目	茨城県	かすみがうら市	採卵鶏	11/3	11/4	11/4	11/22	12/20予定
5例目	岡山県	倉敷市	採卵鶏	11/3	11/4	11/4	11/18	12/16予定
6例目	北海道	伊達市	肉用鶏	11/6	11/7	11/7	11/13	12/11解除
7例目	岡山県	倉敷市	採卵鶏	11/10	11/11	11/11	11/18	12/16予定
8例目	和歌山県	白浜町	あひる	11/10	11/11	11/11	11/12	1/1予定 (飼養鳥3例目と重複)
9例目	兵庫県	たつの市	採卵鶏	11/12	11/13	11/13	11/15	12/14解除 (野鳥39例目と重複)
10例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	11/17	11/18	11/18	11/21	未定 (家きん34例目、野鳥・出水市 の疑い事例と重複)
11例目	新潟県	阿賀町	肉用鶏	11/17	11/18	11/18	11/24	12/22予定
12例目	宮崎県	新富町	採卵鶏	11/19	11/20	11/20	11/22	12/20予定
13例目	青森県	横浜町	肉用鶏	11/19	11/20	11/20	11/24	12/22予定
14例目	香川県	観音寺市	肉用鶏	11/21	11/22	11/22	11/26	1/10予定 (野鳥・12/13多度津町アオサ ギと重複)
15例目	香川県	観音寺市	採卵鶏	11/22	11/23	11/23	11/26	1/10予定 (野鳥・12/13多度津町アオサ ギと重複)
16例目	宮城県	気仙沼市	肉用鶏	11/22	11/23	11/23	11/24	12/27予定 (野鳥75例目と重複)
17例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	11/23	11/24	11/24	11/27	未定 (家きん34例目、野鳥・出水市 の疑い事例と重複)
18例目	千葉県	香取市	あひる (あいがも)	11/25	11/26	11/26	11/26	12/24予定
19例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	11/26	11/27	11/27	12/8	未定 (家きん34例目、野鳥・出水市 の疑い事例と重複)
20例目	福島県	伊達市	肉用鶏	11/28	11/29	11/29	11/30	12/28予定
21例目	和歌山県	和歌山市	採卵鶏	11/29	11/30	11/30	12/4	1/1予定
22例目	鳥取県	鳥取市	採卵鶏	11/30	12/1	12/1	12/5	1/2予定

令和4（2022）年シーズン家きんにおける野鳥監視重点区域の指定状況

家きん ○例目	場所		検体情報	簡易検査陽性 結果判明日	PCR検査による 疑似患畜確定日	野鳥監視重点区域		
	都道府県	市町村				指定日	防疫措置完了日 (消毒終了)	解除日 (防疫措置が完了した日の 次の日を1日目として 28日目の24時に解除)
23例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/1	12/2	12/2	12/5	未定 (家きん34例目、野鳥・出水市 の疑い事例と重複)
24例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/3	12/4	12/4	12/6	未定 (家きん34例目、野鳥・出水市 の疑い事例と重複)
25例目	愛知県	豊橋市	採卵鶏	12/4	12/5	12/5	12/15	1/12予定
26例目	佐賀県	武雄市	採卵鶏	12/5	12/6	12/6	12/7	1/4予定
27例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/6	12/7	12/7	12/14	未定 (家きん34例目、野鳥・出水市 の疑い事例と重複)
28例目	福島県	飯舘村	採卵鶏	12/6	12/7	12/7	12/11	1/8予定
29例目	山形県	鶴岡市	採卵鶏	12/7	12/8	12/8	12/12	1/9予定
30例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/7	12/8	12/8	12/14	未定 (家きん34例目、野鳥・出水市 の疑い事例と重複)
31例目	愛知県	豊橋市	あひる (あいがも)	12/7	12/8	12/8	12/9	1/12予定 (家きん25例目と重複)
32例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/8	12/9	12/9	12/14	未定 (家きん34例目、野鳥・出水市 の疑い事例と重複)
33例目	香川県	三豊市	採卵鶏	12/10	12/11	12/11	未定	1/10予定 (野鳥・12/13多度津町アオサ ギと重複)
34例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/10	12/11	12/11	未定	未定 (野鳥・出水市の疑い事例と重 複)
35例目	青森県	三沢市	採卵鶏	12/14	12/15	12/15	未定	未定
36例目	広島県	世羅町	採卵鶏	12/15	12/16	12/16	未定	未定
37例目	沖縄県	金武町	採卵鶏	12/15	12/16	12/16	未定	未定